

# ふうど館

■物件名：ふうど館  
 ■住所：堺町3-18  
 ■電話：27-1111  
 ■所有運営者：ホクレン農業協同組合連合会  
 ■主任と人員：西村和彦（館長）13人  
 ■建物履歴：

大正8年 ホクレン起点としての多久和自邸  
 昭和17年 戦時体制により陸軍補給司令部に提供  
 （写真2）  
 平成4年 旧ホクレンの古式に準じて新築  
 ※北聯（ほくれん）  
 大正6年 産組中央会北海道支部設立  
 大正7年 第1回全道産業組合大会開催  
 「組合の共同仕入と共同販売の必要性提起」  
 小林篤一峰延信用購買販売組合長と多久和  
 力之進小樽信用購買組合長との会談で聯合  
 会設立の機運向上。多久和組合長は永山、  
 鷹栖、上多寄、智恵文、奈井江、芽室、小樽、  
 峰延の8組合に発起人を呼びかける。  
 大正8年 保證責任北海道信用購買販売組合聯合會」  
 設立このときの事務所が多久和自邸2階  
 （写真1）。現日藤メモリアルガーデン（六  
 花亭・北菓楼前広場で日藤事務所）。  
 これが現ホクレンの起点で、小樽の堺町か  
 らホクレンはスタートした。  
 これは小樽が物流基地であったことを背景  
 に、北見のハッカ（世界の70%市場独占）  
 輸出や道内の農産物を道外移出をする絶好  
 の拠点に相応しかったことによる。

## ■外観

旧ホクレンの古式に準じて新築

## ■内観

回廊式スロープによる展示

## ■内容

ホクレンは平成4年に札幌に集約されることとなり、小樽支店  
 が空き家に。ホクレン発祥と文化発信を考え、「農業は土が基  
 本、土といえば器、土といえども陶器」という着想から北  
 海道の風土、食の風土、陶芸の風土というサイクルをコンセプ  
 トとし「ふうど館」と命名。1階を販売、2階を展示、3階を教  
 室に使用。

## ■コンセプト

ホクレン発祥である誇りと、サイクルコンセプト説明をスタッ  
 フに徹底。

## ■客層

地元0.5%、海外17%、道外60%



外観



1階陶芸売り場

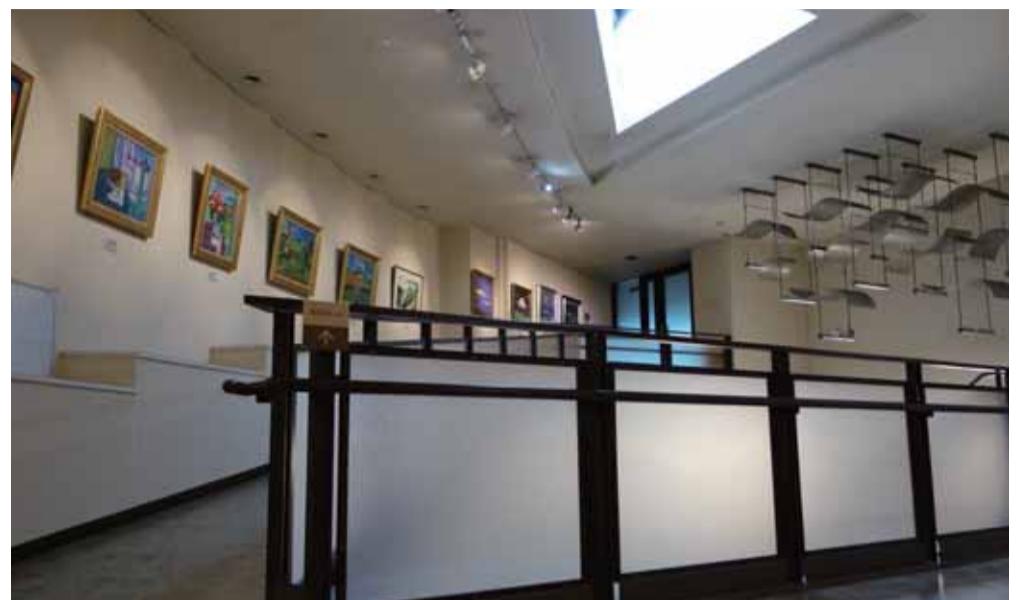


1階北海道士産売り場

# ふうど館



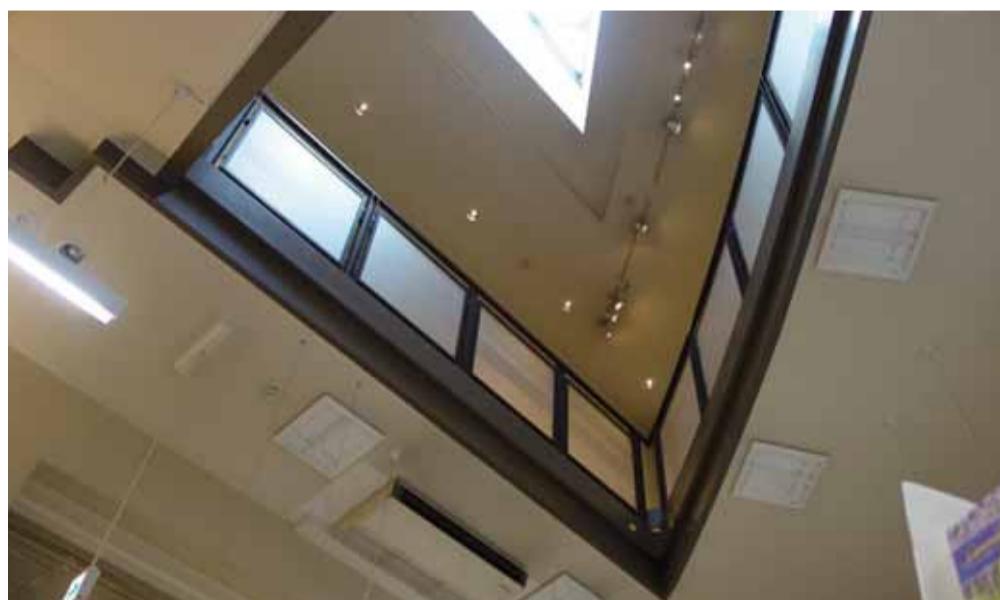
カフェ店内



回廊ギャラリー



ギャラリー



回廊式階段



現在のふうど館以前の建物



現在の六花亭前にあった社屋



創業記念碑